

2024 年（令和 6 年）12 月 20 日

逗 子 市

詩人 高橋睦郎氏
文化勲章受章記念講演会と
逗子市民栄誉賞贈呈式を開催します

逗子市在住の詩人で、今年度文化勲章を受章された高橋睦郎氏のこれまでのご活躍とご功績を称え、記念講演会及び逗子市民栄誉賞贈呈式を開催します。講演会では、高橋氏ご自身による詩の朗読、『逗子に住んで』－こしかたゆくすえ－を演題とする講演を行います。詩の朗読は、能管の演奏を添えてお届けします。

●日時

2025 年（令和 7 年）2 月 2 日（日） 午後 1 時 30 分から（午後 1 時 00 分開場）

●場所

逗子文化プラザなぎさホール（逗子市逗子 4-2-10）

●受賞者

たかはし むつお
高橋 睦郎 氏

逗子市を拠点に、詩や俳句、短歌など幅広い分野において長年にわたりご活躍され、文化勲章をはじめ、これまでに数多くの賞を受賞しています。2025 年は『短歌日記 365 日』が Web 連載予定で、87 歳の現在も精力的に創作を行っています。

主な著作

詩集『兎の庭』（高見順賞）

句歌集『稽古飲食』（読売文学賞）

句集『十年』（蛇笏賞、俳句四季大賞）

台本修辞『王女メディア』（山本健吉賞）

【付属資料】

「高橋睦郎さん 文化勲章受章記念講演会 市民栄誉賞贈呈式」チラシ

本件に関するお問い合わせは、

（講演会）文化スポーツ課 中村、城田（内線 277）

（市民栄誉賞）秘書課 米山、山本（内線 314）

高橋睦郎さん

文化勲章受章記念講演会 市民栄誉賞贈呈式



『逗子に住んで』 —こしかたゆくすえ—

逗子市在住の詩人、高橋睦郎さんが2024年度文化勲章を受章しました。この度の栄誉を記念し、市民栄誉賞をお贈りするとともに、記念講演会を開催します。

高橋さんは、1937年旧八幡市（現北九州市）に生まれ、小学生の頃からは門司で育ちました。その後上京し、1986年から逗子で暮らしています。

現代詩に短歌、俳句とさまざまな形式で詩作を行われ、オペラの台本や新作能など、多方面で活躍されています。2025年は『短歌日記365日』がWeb連載予定で、87歳の現在も精力的に創作を行っていらっしゃいます。

日時 令和7年 2月2日(日)
2025年
13:30開演（13時開場）

場所 逗子文化プラザなぎさホール

入場料 無料 全席自由席(先着500名)

プログラム

- ▶13:30- | 高橋睦郎さん 詩の朗読
- ▶13:50- | 記念講演会「逗子に住んで」
- ▶15:40- | 市民栄誉賞贈呈式

* ロビー、図書館では著作などを展示するコーナーを設置しています

* 記念講演会、市民栄誉賞贈呈式は、手話通訳・要約筆記あり

入場方法

入場自由・参加無料

お席の予約を希望の方は
逗子文化プラザホール窓口で
無料入場券配布 もしくは
事前申込フォームから
(1月4日9:00より
受付・配布開始)

高橋 睦郎さんからのメッセージ

38年前、東京世田谷から逗子の桜山に移ってきた。24歳で上京するまで住んでいたのが北九州門司という海辺の町だったから、移ってきたというより帰ってきた思いで落ち着いて仕事できた。これまでの人生の半分に足りない期間に3分の2を超える仕事を重ね、今も続いている。自分と逗子の相性が良かったわけだ。そんな逗子への感謝を込めてこれまでのそしてこれからの人生をじっくり語れればと思っている。

長年にわたる文芸界の第一線での活躍が実を結ばれましたこと、心よりお祝い申し上げます。文化勲章受章をはじめ、これまでのご功績を称え、市から市民栄誉賞をお贈りします。また、市を挙げてお祝いしたいとの多くの市民の皆様からの喜びの声を受け、記念講演会と市民栄誉賞贈呈式を開催します。ぜひ足をお運びいただき、一緒にお祝いしましょう。

市民栄誉賞をお贈りするにあたって 逗子市長 桐ヶ谷 覚

主催

高橋睦郎文化勲章受章記念講演会実行委員会

共催

逗子市

【協力】逗子市文化協会、NPO法人逗子の文化をつなぎ広め深める会、逗子の文学を学び広める会、逗子アートフェスティバル実行委員会、逗子市商工会、逗子市観光協会、逗子ロータリークラブ、逗子文化プラザホール、湘南ビーチFM、逗子葉山経済新聞 / 【後援】逗子市教育委員会

問合せ

逗子市文化スポーツ課・秘書課 **046-873-1111(内線277)** 平日8:30~17:00

事前申込フォーム

